

テーマ「節電」

今日のテーマは節電です。昨年の大震災以来、国民の節電への気持ちは高くなっていると思いますが現時点、皆さんどうでしょうか？喉元過ぎればはなく日頃から何をすべきか、何ができるのか考えなければなりません。

院内でも考えています。当院の水道光熱費はどのくらいとお考えでしょうか？当院の総床面積約6000坪です。普通の家庭の140〜150軒分でしょうか。とすれば、200〜300万円？いやいや当院の1か月の水道光熱費は約1000万円！です。特に夏は冷房の使用によりさらに上がります。病院は全館のほとんどが使用部分であり、使用量が上がります。そこで何ができるか？

以前からやっていることとして、職員は重い荷物がない限りエレベーターに乗らないこと。 unnecessary 電灯は毎回切ること、特にトイレ、会議室。外来棟等、夜間使用しないところはシャッターで分け空調を切る。

今回提案している重点項目を2つ。①職員通用口兼物品搬入口を徹底して閉めること。

②13時になったら陽の当たる西側のブラインドを閉めること。①は開院時から推し進めています。朝礼で言っても、外部業者も多くうまくいきませんでした。今回、ひらめきました。あるポスターを通用口に張ったところ、効果靚面（てきめん）です！冷蔵庫のドアが開いたポスターで、「開放禁止」、その下に「冷蔵庫のドアを開けっぱなししているのと同じです」と書きました。これは効果あります！②はなるべくその時間に院長回診を入れて、開いてれば私が自ら閉めて回ります。これも良い効果です。

各家庭でも何かできないかと考えてはいかがでしょうか？経費削減、資源温存。

平成二四年七月三十一日 藤井茂

